

■限本有尚 占星術師。3つの学校の初代校長。シュタイナーの人智学を日本に紹介し、予言ブームの一端担う。

くまもとありたか

桜田門外変・1860＝ 筑後国久留米で、藩士の子に生まれる。幼名は井上木六郎。生後まもなく限本家の養子となる。

明治維新・1868＝ 8歳：

戊辰戦争終・1869＝ 9歳：

学問のすすめ1872＝12歳：久留米藩校好生館(同年柳河藩洋学校と合併し宮本中学)に入学。英語・幾何学・地理・博物学を学ぶ。

明治6年政変 1873＝13歳：

初の民間工場1875＝15歳：官立東京英語学校、
三つの反乱・1876＝16歳：官立東京開成学校予科を経て、

大久保暗殺・1878＝18歳：東京大学理学部に第一期生として入学し、星学を専攻。理学部同期生は、田中館愛橘、田中正平、藤沢利喜太郎、有尚の4名のみで、唯一人星学科(後の天文学科)。

.....1880＝20歳：T・C・メンデンホール教授らと共に、富士山頂における日本で最初の気象観測を行う。

明治14年政変1881＝21歳：東京大学理学部助教だった団琢磨から天文学を学ぶ。また、東京大学雑誌(学芸志林)に理学部天文学科第1号となる論文「読潮汐新説」を寄稿するなど、優秀な学生だったが、理学部長菊池大麓へ懐疑持ち対立、

新体詩抄・1882＝22歳：卒業式、菊池から卒業証書を授与されるや、その場で破り捨て、学位認定を受けられず、

岩倉具視没・1883＝23歳：星学科を修了し、同科補助となる。副業として成立学舎の教師も務め、学生だった夏目漱石と出会う。

秩父事件・1884＝24歳：東京数学会社に入社。東京大学予備門教諭となる。正義感が強く、周りに厳格性を求める性格で、漱石の小説「坊っちゃん」に出てくる数学教師「山嵐」のモデルとされる。理学部准助教に昇格。

内閣発足・1885＝25歳：外山正一・矢田部良吉らと「羅馬字会」を設立。この頃、数学者として、マトリクス理論を日本に初めて紹介。団琢磨の親友金子堅太郎の推挙で、*旧福岡藩藩校から再興された修猷館の初代館長に、わずか25歳で任命される。数学、物理を担当し、館長としては、欧米の哲学、倫理学を講じ、

国民之友始・1887＝27歳：原因不明の出火で校舎が全焼すると、福岡県一帯の財産家を説いて再建資金を仰ぎ、

帝国憲法発布1889＝29歳：再建を成し遂げる。

帝国議会始・1890＝30歳：山口高等中学校の教頭となり、「坊っちゃん」の「バツ騒動」のモデルらしい「寄宿舎騒動」に遭遇。

日清戦争始・1894＝34歳：再び修猷館の館長に任命され、現在も使用されている修猷館の六光星の徽章を制定。

白馬会・1896＝36歳：この年、姉崎正治らが組織した丁酉倫理会に参加。

八幡製鉄始・1897＝37歳：第五高等学校教授になっていた教え子夏目漱石が英語授業の視察で修猷館を訪れ、面会。

子規句歌革新1898＝38歳：「中等算術」「倫理学提綱」、

Bushidou・1899＝39歳：「福岡日日新聞」に「九州大学と高等学校」を発表し、福岡での大学設置運動の口火となり、後の九州帝国大学の設置へと繋がっていく。

教科書疑獄・1902＝42歳：文部省視学官。哲学館事件の主謀となった後、*ヨーロッパに留学し、ドイツでルドルフ＝シュタイナーに出会って人智学を学び、イギリスでは「近代占星術の父」アラン＝レオやセファリアルから占星術を学ぶ。

日露戦争始・1904＝44歳：帰国し、東京高等商業学校教授兼視学官、

日露戦争終・1905＝45歳：長崎高等商業学校初代校長を経て、

伊藤博文暗殺1909＝49歳：定年退職。新設の京城居留民団立京城中学校の初代校長に就任、

韓国併合・1910＝50歳：この年からペンネームで丁酉倫理会の機関誌「丁酉」に「天文による心理の研究」を連載し、

明治天皇没・1912＝52歳：

大正政変・1913＝53歳：同校が改称した朝鮮総督府中学校校長を最後に公職から引退し、東京に移住。私立東京工科学校の幹事長を勤めながらシュタイナーの人智学を日本に初めて紹介し、この頃起きた予言ブームのなか、大正政変を分析する論を発表し、アラン＝レオの要約「歐式淘宮独判断」や、

第一次大戦始1914＝54歳：*セファリアルの要約「天文ニ依ル運動豫想術」によって、西洋占星術(自らは考星学と呼んだ)を日本に初めて紹介し、自宅に皇考星会の看板を挙げて占星術師となる。この年、帝大での丁酉倫理会公開講座の講師になったが、会終了後、感激した松尾直直(後の相場師伊東ハンニ)の申し入れ受け入れ研究会出席認める。科学的知識も背景に、政治、経済、社会などのあらゆる分野で数多くの予言を的中させ、旧来の占い師の顔色を無からしめ、小池国三も有尚の景気予測によって巨万の利益を得、

ロシア革命・1917＝57歳：第一次大戦後の予測によって突如株式相場から手を引き、山一証券を創業、衝撃を受けた伊東ハンニが、有尚の理論を適当に斟酌した本を次々出版するも、逆効果、自らも予言の公表を止め、

名を伏せて「占星算命術」を出版、以後、山田耕筈ら占星術の弟子たちが古い本を次々出版、

ベル仁条約・1919＝59歳

原敬首相暗殺1921＝61歳

関東大震災・1923＝63歳：

円本時代始・1926＝66歳：「丁酉」に「東西の国際関係と新瑜祇の運動」、

金融恐慌・1927＝67歳：「東邦文化と亜歴山大王」、

共産党事件・1928＝68歳：「地球面の形勢と東西人類の命数」などを発表してシュタイナーの論の応用に努め、これらにもとづいて尾崎行雄が国会に提出した三大国難警告決議案の履行ならず失望するが、以後も積極的に発言、

満州事変・1931＝71歳：「丁酉」にシュタイナー紹介の最後となる「人類史上四輪紀の建前に就いて」を発表後、占星術分析に入り、

イギリスで経済的激変が起こると予言、これを狡猾に利用した伊東ハンニは一躍時の人になるが、

五一五事件・1932＝72歳：*「万朝報」などで伊東ハンニの過去が暴露されるに及び、ついに絶縁。

日中戦争始・1937＝77歳：

日米開戦・1941＝81歳：

創価学会検挙1943＝83歳：没した。